

(様式3)

事業所名 グループホームすずらん稲川

目標達成計画

作成日: 平成 31 年 3 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者避難できる方法を全職員が身につけているか一時避難所はどこか？雨や雪の場合は何処へ逃げるのか？2階の避難の仕方は？について改めて考える。	どのような災害があっても避難出来るように避難訓練の回数を増やし行う。細かいところまで決めて。訓練を行う。	各、災害毎に訓練を行う(継続)が役割など、見直ししていく。災害が起きた際の避難する時の流れを全職員が把握しスムーズに動けるようにしていく。	12ヶ月
2	7	声掛けが適切でない(不適切なケア)時が見受けられるが、日常化しないようにホーム内、外で学んでいく。	ホーム外の研修への参加は人数が限られている為、定期的にホーム内に於いても研修を行っていく(今までは職員の会議で話をしていた)研修での学びを介護の現場で実践して、どんな時でも適切な声掛けが出来るようにしたい。	ホーム外の研修の参加も継続しつつ、ホームの中でも研修を行い、虐待に繋がっていく不適切なケアについて学ぶ機会を増やしていく。	12ヶ月
3	31	今まで利用者様が重度化した場合について入居時に説明させて頂いていたが、ご家族に対して具体的なところまでには、話はしていなかった。	入居時、ご家族に対して利用者様が重度化した場合について今まで同様にホームで出来る事を伝えると共に、ご家族の意向や考えておられる事など、さりげなく伺い重度化した場合に備えていきたい。	利用者様が重度化と、ならないような生活を提案していく(生活リハビリ、レクリエーション、転倒防止等)基本であるが毎日の利用者様の状態の把握に努めて対応していく。又、介護度の変更の申請、施設の申し込みなどご家族と相談しながら行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。